

会 議 録

| | |
|-------|--|
| 会議の名称 | 令和2年度第3回茨木市環境審議会 |
| 開催日時 | 令和2年11月27日（金） （午前 午後 ） 2時00分 開会 （午前 午後 ） 4時00分 閉会 |
| 開催場所 | 茨木市役所南館3階防災会議室 ※Zoomでの開催 |
| 議 長 | 玉井 昌宏 |
| 出席者 | 石山 郁慧、岩淵 善美、内田 典子、大岩 賢悟、大上 正良、 金谷 健、久米 辰雄、諏訪 亜紀、玉井 昌宏、山田 俊一 【10人】 |
| 欠席者 | 奥野 美鈴、前迫 ゆり 【2人】 |
| 傍聴人 | 2人（会場：1人、オンライン：1人） |
| 事務局職員 | 吉田産業環境部長、 神谷産業環境部次長兼資源循環課長、牧原環境政策課長、 井澤環境政策課主幹兼政策係長、細井環境政策課主査、 福本環境政策課職員 【6人】 |
| 開催形態 | 公開 |
| 議題・報告 | 1 議題 （1）地球温暖化対策実行計画（区域施策編）素案について |
| 配布資料 | ・茨木市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（素案） |

議 事 の 経 過

| 発言者 | 議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項 |
|------|---|
| | 1 開会 |
| 事務局 | <p>1 審議会の成立の確認</p> <p>本日の会議の成立について報告する。 12名の委員のうち、10名に出席いただいているので、環境審議会規則第3条第2項により会議は成立している。</p> |
| 会長 | <p>1 議題</p> <p>さっそく審議に入っていく。 議題(1)「茨木市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）素案について」、本日は計画書素案の全体が示されている。前回、第3章までを審議したので、まず第1章から第3章までを審議し、残りを第4章、第5章に分け、最後に全体に対する審議の時間としたい。</p> |
| 事務局 | <p>「(1) 地球温暖化対策実行計画（区域施策編）について」資料に基づき第3章までの変更点を説明</p> |
| 会長 | <p>第3章までの審議は、今から30分程度としたい。 それでは、意見のある方はお願いします。</p> |
| 久米委員 | <p>P. 1の12行目に、自治体だけではなく、国も「2050年二酸化炭素排出実質ゼロ」を宣言している旨の文言を追加した方が良い。</p> |
| 会長 | <p>実質ゼロとは、具体的にどういう意味か。詳しい委員がいたら教えてほしい。</p> |
| 久米委員 | <p>排出権取引などを含めて、計算上の排出量を差し引きゼロにするという考え方である。二酸化炭素を全く排出しないというものではない。</p> |
| 会長 | <p>そのあたりの説明を入れてほしい。</p> |
| 久米委員 | <p>P. 60以降に用語集をつけているが、読者が用語集の存在に気づかないことが考えられるので、本文中に注釈を入れて用語集に誘導するような冊子にしてほしい。二酸化炭素排出実質ゼロの解説も、環境省の</p> |

議 事 の 経 過

| 発言者 | 議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項 |
|------|---|
| 事務局 | <p>ホームページなどから抜粋して入れてほしい。</p> <p>指摘事項を掲載する。</p> |
| 金谷委員 | <p>P. 5の「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを表明した自治体」の図が小さく、字が読めない。自治体名が分かるようにしてほしい。</p> <p>P. 27で説明されている※1のBaUに関する説明も、最初に記載されているP. 23に入れた方が良い。</p> |
| 会長 | <p>P. 17で茨木市のエネルギー消費量は年々減少しているが、P. 25のBaUの将来推計では温室効果ガス排出量が増加している。エネルギー消費量が減少している要因を記載せずに、BaUの推計を掲載しても、今後何に取り組めばよいかわからないので、BaUを掲載するのであれば、そのあたりの説明を入れてほしい。</p> |
| 山田委員 | <p>P. 47からP. 52に市民が取り組むことが記載されているが、重点的に取り組まないといけないことが何なのかわかりにくい。</p> <p>また、市民向けの概要版も作成してほしい。</p> |
| 石山委員 | <p>目次の「章」の記載はフォントサイズを大きくし、章ごとの行間を空けて目次を見やすくしてほしい。</p> <p>全体的に図に番号が付けられておらず、どの図を見ればよいかわからないので、図に番号を付けてほしい。</p> <p>また、第1章の表現が難しいように感じる。特にP. 7の「地域循環共生圏」の説明文で出てくる「レジリエンス」については、例えば「回復力の強化」といった表現でよい。</p> <p>P. 14の立命館大学の説明のところは、開設された年月を記載してほしい。</p> |
| 会長 | <p>図に番号を付けることと、それに対応する説明を加えてほしい。</p> |
| 諏訪委員 | <p>P. 22の「地域の所得循環構造」の解説で、「電気の流出額が多くなっている」という記載になっているが、現状からどのような取組をするのかの部分抜けているので、追記してほしい。</p> |
| 金谷委員 | <p>P. 24の「BaUの推計の考え方」の表で、廃棄物部門の排出量はプラスチック処理量に比例すると記載されているが、処理量の多い紙類を入れていない理由を知りたい。</p> |

議 事 の 経 過

| 発言者 | 議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項 |
|------|---|
| 事務局 | 地球温暖化対策推進法では、化石燃料由来の廃棄物を処理した量をもとに二酸化炭素排出量を計算することが決められているため、紙類は含めていない。 |
| 大上委員 | <p>P. 27の「中期目標年度における部門別の排出量」の表の下に、P. 28の「②温室効果ガス排出量の目標値」の説明文と表を入れ、その後に「取組の例」と「＜参考＞令和12年(2030)年の生活のイメージ」を入れた方が目標に対して取組むことのイメージがしやすいように感じる。</p> <p>また、「＜参考＞令和12年(2030)年の生活のイメージ」の中に、高効率機器を導入することで得られる削減効果を、可能な範囲で記載してほしい。</p> |
| 久米委員 | <p>P. 22「茨木市総生産額の内訳」の図について、この状態では、何を意味しているか分からないものになっているので、図を拡大するか要点を記載するなどして、わかりやすくしてほしい。</p> <p>P. 24の「BaUの推計の考え方」の表の廃棄物部門で、紙ごみや生ごみをカーボンニュートラルとして扱うことも、追記してほしい。</p> <p>P. 31とP. 32で市民1人あたりの温室効果ガス排出量は減少していると記載しながら、P. 33の「今後10年間における課題（緩和策及び適応策の観点から）」で家庭での省エネが必要と読み取れる内容の文章があり、混乱する内容となっている。</p> |
| 諏訪委員 | P. 22の「地域の所得循環構造」の図は、市域外に流出している額がわかれば良いと思うので、目立つように記載してほしい。 |
| 久米委員 | P. 22の「地域の所得循環構造について」で、「再生可能エネルギーの導入可能量が市域で使用しているエネルギーの6%」となっているが、算定根拠を掲載してほしい。 |
| 会長 | 時間になったので、事務局から第4章の説明をお願いします。 |
| 事務局 | 「(1) 地球温暖化対策実行計画（区域施策編）について」資料に基づき第4章を説明 |
| 会長 | <p>第4章の審議は、今から30分程度としたい。</p> <p>それでは、意見のある方はお願いします。</p> |

議 事 の 経 過

| 発言者 | 議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項 |
|------|---|
| 金谷委員 | P. 53の「9. 廃棄された～」の表現で、「プラスチックの処理による二酸化炭素排出量の削減」の「による」は、二酸化炭素排出に係っていると思うので、「による」を「に伴う」に修正し、「二酸化炭素排出量」の「量」を取って「二酸化炭素排出」にした方が誤解されにくいと思う。P. 58の「4-9」も、同様に修正したほうがよい。 |
| 石山委員 | P. 39～P. 40の「4-1-5」で、影響を踏まえた対策について記載しているが、＜水環境・自然生態系＞のところは、生物の生育状況の変化を把握するだけなのか。もう少し具体的に記載してほしい。 |
| 事務局 | 記載できる取組について検討する。 |
| 諏訪委員 | P. 37の「次世代自動車の導入や自動車の利用について」でアンケート結果を掲載しているが、これから電気自動車の啓発を行っていく際に、蓄電としての機能があることなど周知したりするのか。 |
| 久米委員 | 各アンケートを取った時期を記載してほしい。 また、アンケート結果を受けてどのような対策をしていくか記載してほしい。 |
| 事務局 | 電気自動車の蓄電池としての使用については、P. 51に記載しているが、そのほかの使用法の紹介の記載も検討する。 アンケートは本年に行ったものである。 |
| 久米委員 | アンケート実施時期の記載は必要かと思うので、年月の記載をお願いします。 |
| 会長 | 安威川ダムは、府の事業であるが、自然災害に関連する適応策で最も関係するものであるので、もう少し触れてほしい。 |
| 会長 | 時間になったので、事務局から第5章の説明をお願いします。 |
| 事務局 | 「(1) 地球温暖化対策実行計画（区域施策編）について」資料に基づき第5章を説明 |
| 会長 | 第5章の審議は今から10分程度としたい。 初めに先ほど山田委員から市民向けのパンフレットを作してほしい |

議 事 の 経 過

| 発言者 | 議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項 |
|------|--|
| 事務局 | <p>という意見があったので、それに対しての事務局から回答をお願いする。</p> <p>リーフレットの概要版を作成予定である。</p> |
| 山田委員 | <p>現行の計画の概要版はわかりやすくまとめられている。</p> <p>A4サイズの紙2枚程度であれば多くの人に読んでもらえると思うので、その限られたスペースの中で、目標達成のために市民は何に取り組んでいくべきなのかを記載してほしい。</p> |
| 久米委員 | <p>P.44の「設定する指標」の表で、まちの姿2の中に「市内のレンタサイクル導入台数」を入れているが、市民にとっては、レンタサイクルよりも駐輪場や自転車専用道路の方が重要であると思う。可能であれば、駐輪場の増加率や自転車専用道路の拡大率の指標を入れてほしい。</p> |
| 会長 | <p>同じく設定する指標の表の中で、全体指標に「1人あたりのエネルギー消費量」と「部門別温室効果ガス排出量」を挙げているが、全体であれば、全体の消費量および排出量にするべきではないか。</p> |
| 事務局 | <p>現行の計画で設定しているものに合わせている。審議会の意見で全体の数値にすべきとなれば、改めて設定する。</p> |
| 会長 | <p>総量は人口や事業所数に影響する面もあるので、単位当たりの数値を出す考えももちろんあるが、目標は総量で出すものではないかと思う。</p> |
| 内田委員 | <p>同じく設定指標の中で、いばらき環境（エコ）ポイントがあるが、まちの姿が「全体」となっている意味と、抽選応募者数と協賛市内事業所数の間にある「/」の意味を知りたい。</p> |
| 事務局 | <p>5つのまちの姿全てに当てはまるという意味で、「全体」と表現している。ただし、全体指標ではないことから、評価指標に含めている。</p> <p>「/」は、抽選応募者数と協賛市内事業所数の数を把握するという意味である。</p> |
| 内田委員 | <p>「/」ではなく、「・」にするべきではないかと思う。</p> |

議 事 の 経 過

| 発言者 | 議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項 |
|------|--|
| 大岩委員 | 指標で挙げている「市内のプラスチック処理量（t）」に関連して、プラスチックのごみを減らすことが地球温暖化対策になるかと思うので、市民にプラスチックの取り扱いをどうしていくのか将来像について考えてほしい。 |
| 諏訪委員 | プラスチック処理量について指標に入れているが、そもそも今後10年や20年後を考えたときに、プラスチックの生産について、市内事業所は石油由来のものを作るのかそれとも代替品を作っていくのか明記した方が良いのではないか。 |
| 事務局 | <p>環境省ではプラスチック資源循環戦略の見直しに向けて動きがあり、大阪府でも計画策定の予定がある。本市においても、計画の策定について、検討しなければならない状況になっている。</p> <p>生産者側が、プラスチックの代替品に切り替えていくことも、長期にわたって取り組むべきことであると認識している。本計画には、将来の方向性程度には記載するようにする。</p> |
| 久米委員 | プラスチックに関する指標は、処理量の他に、スーパーなどにある回収箱に集まったペットボトルの回収率など、市民が努力した結果が見える指標を入れてほしい。 |
| 会長 | <p>評価指標の状況が良くても、全体指標の数値がなかなか下がらないことがあるので、評価指標の状況がそのまま全体指標に結びつくような指標を設定してほしい。</p> <p>また、現行の計画で市民側の盛り上がりには欠けていたように感じているので、市民が地球温暖化問題について考える機会を提供してほしい。</p> |
| 諏訪委員 | 環境政策課は何人の職員で構成され、普段どういったことに困っているのか。 |
| 事務局 | <p>全員で16名、地球温暖化関連の事務を行っているのは、6名である。</p> <p>主催する環境イベントで、環境に関心のある方の来場はあるが、そのほかの市民の来場が少ないことが課題と感じている。</p> |
| 諏訪委員 | 環境教育の中で、アクティブラーニングをする施策はしているのか。 |
| 事務局 | アクティブラーニングまでできているか判断できないが、普段の学 |

議 事 の 経 過

| 発言者 | 議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項 |
|------|--|
| | 校教育の中で環境学習をしていることや、環境教育ボランティアとして登録している専門家が普段の授業とは異なる話をしている。 |
| 久米委員 | みどりのカーテンの普及率など、市民が普段の生活の中で取り組んだ結果が見えるような指標を入れてほしい。 |
| 会長 | 指標については、再検討をお願いします。 最後に、言い残したことなど何か意見はあるか。 |
| 内田委員 | この計画の冊子は、どこに配付予定か。 |
| 事務局 | 主な公共施設に配付予定である。 それほど多くの部数を印刷する予定はないので、基本的にホームページから閲覧してもらうことになる。 |
| 内田委員 | 非常に難しい内容なので、公共施設に設置してどれだけの人が手に取って見るのか気になった。 |
| 山田委員 | 今までこういった計画策定時に、市の広報誌に特集記事を掲載したことがあるのか。 可能であれば、市の広報誌に特集記事を掲載したら良いと思う。 |
| 事務局 | 現計画に関しても、広報の担当課に特集記事の掲載依頼をしたが、紙面編集の都合で掲載されていない。今回の計画策定時にも掲載依頼をする予定であるが、取り上げられるかはわからない。 |
| 会長 | 市民が計画を理解できないと本審議会も意味のないものになるので、市民にとってわかりやすい計画を、啓発方法も含めて考えていかないといけない。 |
| 石山委員 | 第5章が、他の章と比較して、非常にページが少ないように感じる。説明不足にも感じるので、写真を掲載しながら説明すればわかりやすいものになると思う。 |
| 事務局 | これ以上ページ数を増やすのは難しいが、市民に見てもらいやすい形にする。 |
| 会長 | 見てもらいやすいというより、市民が協力したくなる記載にしてほ |

議 事 の 経 過

| 発言者 | 議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項 |
|------|---|
| 事務局 | しいという意見だと思うが、いかがか。 市民が協力したくなる表現にしていく。 |
| 岩淵委員 | P. 42の「4-2」では、「二酸化炭素排出量」と表現しているが、そのほかのところでは「温室効果ガス排出量」としている。これに何か理由があるのか。 |
| 事務局 | 特に意図して「二酸化炭素排出量」としているわけではない。 |
| 岩淵委員 | P. 42の「4-2」は、写真など入れてもう少しわかりやすい取組を掲載してほしい。 全体的に温室効果ガスの定義など各用語の説明をもう少し充実させてほしい。 また、どのような人でも疑問なく読める計画にしてほしい。 |
| 事務局 | 全体的に表現を統一し、説明も充実させる。 |
| 会長 | 時間になったので、「茨木市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」に関する審議は、以上とする。発言できていない意見等がある場合、12月3日（木）までに電子メールで事務局に送るようお願いする。 続いて、本計画に係る今後のスケジュールについて事務局から説明をお願いする。 |
| 事務局 | 本日以降、パブリックコメント前後までのスケジュール説明 |
| 会長 | 次回の会議は2月の予定で、パブリックコメントでの意見を踏まえた、最終形の資料となるということであるが、図表や注釈なども、ほぼ出来上がった形で準備するようお願いする。 |
| 会長 | 議題(2)「その他」として、何かあるか。 |
| 事務局 | 特にない。 |
| 会長 | それでは、本日の会議は以上とする。 |
| | 1 閉会 |